

IV 所見

5月の月間目標(教養)と比較すると、多くの項目で評価が良くなっている。評価が上がった項目は、「駅員、運転士に明るい挨拶」、「交差点での安全確認・道路交通法の順守」、「雨天時のレインコート着用」の3項目である。特にレインコート着用に関しては、「できなかった」とした回答は0であった。クラス担任をはじめ、現場での指導により、生徒の安全意識が向上し、今回のデータに表れていると思われる。しかし、その一方で評価が変わらないか、あるいは下がった項目もある。「進んで席を譲る」、「学校駐輪場では指定された場所に詰めて整頓して駐輪する」の項目である。前回、5月の月間目標でもそうであったが、席を譲るという行為は意外と勇気がいるものである。しかし、一歩踏み出して席を譲る生徒が増えてくれば、他の生徒にも波及していくのではないかとと思われる。本校生徒は、何事も先頭をきって行動することを特に苦手としている。気持ちはあっても、席を譲るという行動に、なかなか出ることができない生徒が多くいるように思われる。そのあたりの気持ちを引き出してやり、行動につながるようになれば生徒にとっても大きな自信になるであろう。

日々、生徒の状況は良くなっているが、まだまだ危機意識の低い生徒も見受けられる。今後とも、機会指導を通し、お互いが被害者・加害者にならないよう安全に対する意識の向上を図ることが望ましい。